

いると安心! かかりつけ医

特集

知っておきたい
「男性不妊」

大学病院と密接な
関係で医療連携を推進する

かかりつけ医と
獨協医科大学
埼玉医療センター
との連携

部門紹介「手術部」

先進的医療で
精度の高い、
安心な手術を



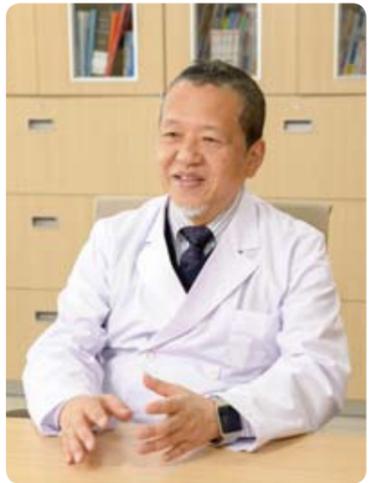
獨協医科大学埼玉医療センター 地域連携広報誌

まもるがかり

まもるがかり

知っておきたい 「男性不妊」

現在、なかなか妊娠しづらい傾向があると言われていますが、その原因は女性だけでなく男性にもあるそう。男性不妊の実情や対策について、第一人者の岡田先生に伺いました。



病院長 岡田 弘
 リプロダクションセンター GM (統括者)
 埼玉医療センター院長・泌尿器科主任教授
 1980年3月、神戸大学医学部医学科卒業、1985年3月神戸大学大学院医学研究科博士課程修了。三木市立三木市民病院泌尿器科主任医長、神戸大学医学部附属病院助教授、帝京大学医学部泌尿器科助教授等を経て、2007年より獨協医科大学埼玉医療センター泌尿器科主任教授

■書籍名:男を維持する「精子力」
 ■出版社:ブクマン社
 約30年、男性不妊治療の最前線で活躍されている岡田先生。著書『男を維持する「精子力」』には、男性ホルモンから性の悩み、不妊治療まで、この一冊につまっています。



原因は男女半々。 50万人以上が悩む、珍しくない“症例”

WHO (世界保健機関) のデータによると、男性のみに原因があるのが24%、女性のみが41%、男女ともに原因があるのが24%。「男性のみ」と「男女とも」を合わせると48%になり、不妊の原因の半数が男性にもあるということになります。生殖年齢を25〜39歳と仮定すると、そのうち結婚して子どもを望む男性の半数、52万人もの人々が男性不妊と推定できるのです。これは同年代の糖尿病の患者数よりも多く、男性不妊は珍しくも恥ずかしくもないことだとわかります。

不妊患者の内訳は、精子を造る機能に問題がある「造精機能障害」が98%以上。4分の3が原因不明ですが、原因がわかった中でもっとも多いのが精巣の静脈に瘤ができる「精索静脈瘤」です。また、精液の中に精子がまったく見当たらない「無精子症」は男性不妊患者のうち10〜15%を占めています。「無精子症」であっても精子が造られていて、ルート(精路)にのみ問題がある場合は治療によって子どもが持てる可能性があるのでです。さまざまな原因がありますが、検査のやり方によって結果が変わる場合もあります。まずは専門医のもとで正しい検査、治療を行うことが重要です。

男性と女性が一緒に、 専門医のもとで最善の治療を

女性と異なり、「男性はいくつになっても子どもが作れる」という考えは根強く残っています。しかし、それは間違いで、女性の卵子と同じく男性の精子の力も衰えるのです。通常の検査では精子の数や運動率、形などしか調べられませんが、最新の「精子機能検査」では妊娠させられる能力まで調べることが出来ます。「自分は大丈夫」などと思い込まずに、しっかりした病院で検査を受けてみることをおすすめします。

とはいえ不妊治療は女性主導で、主に産婦人科で行われていることが多いのが現状。それだけに男性は恥ずかしく、なかなか受診しづらい傾向があるようです。しかし、私が起ち上げた当院のリプロダクションセンターは、女性はもちろん、男性もきちんと診られる不妊の最先端病院です。男性は泌尿器科の専門医が、女性は産婦人科の専門医が、それぞれ詳しい検査・治療を行っています。また、仕事をしながら治療を続けられるように、土曜や平日夕方方の診療も実施。治療に関する悩みや不安をうかがうカウンセリング外来も設けています。大病院ならではの最先端医療を提供している当センターへ、ご夫婦でぜひ足を運んでください。

1年間妊娠しなければ不妊。 夫婦5組に1組が治療中

不妊とは、「正常な夫婦生活があるにもかかわらず1年間妊娠しないこと」をいいます。日本における不妊の正確なデータはないのですが、夫婦と子どもの数の統計でいうと、6組に1組の夫婦は子どもがおらず、5組に1組が不妊治療中です。

不妊の方が増えたかどうかについては、先ほど申し上げた通り日本では統計を取っていないためわかりません。しかし、約40年も不妊に携わっている私の実感値として、不妊治療を行っているご夫婦は確実に増えていると思います。そもそも不妊症が積極的な治療対象になったのは1980年代以降のことで、それ以前は主な原因は女性にのみあると考えられていました。「嫁して3年、子なきは去れ」などと言われていたわけです。男性にはどうしても自分を正当化したがる特徴がありますからね。

自宅で簡単にセルフチェックできるサービスも!

「恥ずかしいから受診したくない」という声もあり、結婚して妊活することになってから重い腰を上げる男性が多い。しかし、自分の精子の状態をきちんと知っておくのも男性のたしなみ。今の時代はスマホでセルフチェックできるサービスもあるので、“大人の男”として、ぜひ検査をしてほしい。「はたちの献血」のように「はたちの精液検査」をしたり、女性からのバレンタインプレゼントに検査キットを贈ったりする時代がやってきているのだ。



かかりつけ医と 獨協医科大学埼玉医療センター との連携

日頃の診療や健康管理をしてくれる
身近なお医者さん“かかりつけ医”。

体のちょっとした症状が気になるときや、
健康診断で異常な数値が出たときなどに
大変頼りになる存在です。

イザというときのかかりつけ医、あなたはいますか？



<当センターの特長>

- ◆大学病院ならではの専門医による妊活サポートが受けられます。
- ◆現在日本で行われているMD - TESE (顕微鏡下精巣精子採取法) の手術数の半数近くを担っています。
- ◆他科との連携で妊娠・出産後もバックアップ。心理的なサポートもあり安心です。



※検査の結果をふまえ、男性・女性部門担当医師がともに治療方針を検討し、今後の治療についてご提案します。詳しくはHPをご覧ください。

まずはご夫婦で気軽にご相談ください。
私たち専門医が最善の治療を提案します！

獨協医科大学 埼玉医療センター リプロダクションセンター

<http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/repro/>

TEL : 048-965-2028

(予約受付時間：月～金曜日、午後2時～午後4時)

初診時は、必ずご予約ください。
午後診がある日も、午後4時を過ぎますと事務では電話をお受けできません。
土・日曜日、祝日は、電話予約はできません。
紹介状があれば、初診時にお持ちください。

ご夫婦そろって不妊検査を受けられた場合、
埼玉県のごうとり健診推進事業(早期不妊検査助成事業)
より費用が助成されます。※条件を満たす方が対象。
詳しくは、埼玉県のホームページ(ウェルカムベイビープロジェクトの助成事業)をご参照ください。

リプロダクションセンターに
行ってみよう！



地域医療の 3つの安心

かかりつけ医と獨協医科大学埼玉医療センターが連携して、地域医療に貢献します。

中核病院

治療が難しい病気でも、高い技術を持った専門医に診てもらえるのが中核病院です。しかし、いきなり中核病院を訪れると、診察まで長時間待ったり、選定療養費がかかったりします。

だから、かかりつけ医の紹介が必要なんだ

いると安心!
かかりつけ医

知ってて 安心!
かかりつけ医と
中核病院の特長

かかって安心!
かかりつけ医と
中核病院との連携

かかりつけ医 (クリニックや医院など)

あなたのことを良く知っていて、いざという時に中核病院の専門医を紹介してくれます。日ごろから気軽に相談できる“かかりつけ医”を持つことが安心につながります。

それぞれの特長 を理解しよう

患者

獨協医科大学埼玉医療センターでの専門的な検査、手術、治療

特長

重篤な患者に対して検査、手術を提供してくれる。
かかりつけ医と連携して、より良い治療方針を提案してくれる。



あなたの街の
クリニックへ
受診

日常診療

特長

じっくり診察してくれる。
日常の健康管理についてアドバイスをくれる。
検査・手術などが必要なとき、適切な病院を紹介してくれる。



分かりました!

大学 病院へ
ご 紹介

Aさんをご
紹介しますので
お願いします

紹介元 の医院へ
ご 報告

Aさんの
治療は...

なるほど、
では...



ちょっと
お腹が痛くて...





経カテーテル的大動脈弁置換術
「TAVI」 心臓血管外科



手術支援ロボット
「ダヴィンチXi」
泌尿器科



部門紹介
手術部

先進的医療で精度の高い、安心な手術を

最新の設備と技術で
地域の命を守る

2017年末に完成した
新棟には22の手術室があ
り、埼玉県の中核病院とし
て、日々患者さんの命と向
き合っています。

ロボット支援下内視鏡手
術室には、ダヴィンチXiと
呼ばれる最新鋭の手術ロ
ボットが設置されていま
す。内視鏡カメラと7つの
関節を持つ3本のアームを
小さい切開創から患者さん
の体に挿入し、これらを自
在に操作することで、精度
が高くかつ、体への負担が
少ない手術を行うことがで
きます。現在、前立腺がん、
腎がん、子宮がん、胃がん、
大腸がんに対してロボット

支援下内視鏡手術が行われ
ており、他の手術に対しても
拡大される予定です。

ハイブリッド手術室は、
手術台とX線撮影装置を
組み合わせた手術室のこと
で、透視や造影を行いなが
ら、正確で体への負担も少
ない手術が可能になりま
す。経カテーテル的大動脈
弁置換術、ステントグラフ
ト手術、脳動脈瘤や脳腫瘍
手術、脊椎や関節の手術、
微小肺がん手術などが行わ
れています。

我々の使命は、安全でか
つ先進的な医療の提供であ
り、豊富なマンパワー、知
識、技術に裏付けられた質
の高い医療を提供してまい
ります。

「脳腫瘍摘出術中CT」 脳神経外科



「脳血管内手術」



埼玉医療センターでの診療の支援と さまざまなご相談に対応します

総合医療相談部のご紹介

獨協医科大学埼玉医療センターは、毎日1700名以上の患者さんが外来を受診し、また毎月2000名以上の方が入院される埼玉県で最大規模の急性期病院です。診療科や検査部門も多く、受診あるいは入院されるに当たり、いろいろな疑問やお困りのことが出てくるかも知れません。総合医療相談部は、患者さんが当センターでの円滑な診療を受けて頂けるように支援させていただく部門です。患者さんの必要に応じて、以下のようないろいろなお手伝いをさせていただきます。是非ご利用ください。

1. 当センターをはじめ受診される際に

患者さんは、まず地域の医療機関を受診され、専門的な診療が必要と判断されて当センターを受診されることが一般的だと思います。総合医療相談部の医療連携部門では、多くの医療機関と密接な連携をとっております。医療機関から診

察依頼のお電話またはFAXをいただきますと、地域連携枠で該当診療科の予約を取らせていただき、受診日には専用の窓口で受付をさせていただきます。また、いったん地域の医療機関に戻られた後、改めて紹介されて受診される場合にも、同様に地域連携枠での予約を取って頂くことが可能です。もちろん地域連携枠の予約がなくても受診可能な診療科はございますが、待ち時間でご負担をかけることがありますので、できるだけ当センター宛の紹介状をご用意いただきご予約をお取りください。

2. 入院の前に

入院が必要となった際には、病歴はもちろんのこと、アレルギー情報、日常生活様式、現在の体力、常用されている薬やサプリメント、食べ物などの嗜好、ご家族やご家庭の環境、かかりつけ医の情報、介護保険の有無など、数多くの情報を診療のためにセンター内で共有させていただきます。従来はこれらの情報は、入院した後に収集していましたが、これを入院前に把握し

て、解決が必要な問題があれば早期に着手しておくことにより、入院後の治療を早期に円滑に進めていくことが出来ます。昨年オープンした入退院支援部門（入退院支援センター）では、このような仕事をしております。まだ入院患者さん全員には行っておりませんが、今後徐々に対象診療科を増やしていく予定です。

3. 退院、転院に向けての支援

退院後に介護が必要になる場合、あるいは他院での治療やリハビリテーションなどのため転院が必要になる場合などにお手伝いするのが、看護支援部門と医療福祉相談部門です。メディカルソーシャルワーカーが中心となり、地域のケアマネージャーや医療機関と連携を取り、退院・転院の調整を行わせて頂きます。また当センターでは、訪問診療、訪問看護も行っており、看護支援部門と在宅医療部が連携し、退院調整や居宅療養支援など必要な支援を行わせていただきます。

4. 様々なご質問、ご相談やご意見をいただく窓口として

当センターでの診療を受けていただくにあたり、患者さんあるいはご家族にはさまざまなご質問やご意見があるうかと思えます。診療内容につきまして、担当医師にご相談頂ければ結構ですが、入院の費用や入院生活での不安な点セカンドオピニオンに関する事、介護保険や在宅医療、在宅看護などについてのご質問やご相談、また当センターの施設や診療内容あるいは職員へのご意見やご不満につきまして、総合医療相談部の患者さん相談窓口にてお受けいたします。ご相談の内容に応じて、各関係部署と連携し支援させていただきますので、お電話でも、院内15箇所を設置しております投書箱をご利用頂きます。特に関心のある質問や相談につきましては、がん相談支援部門の職員が対応いたします。

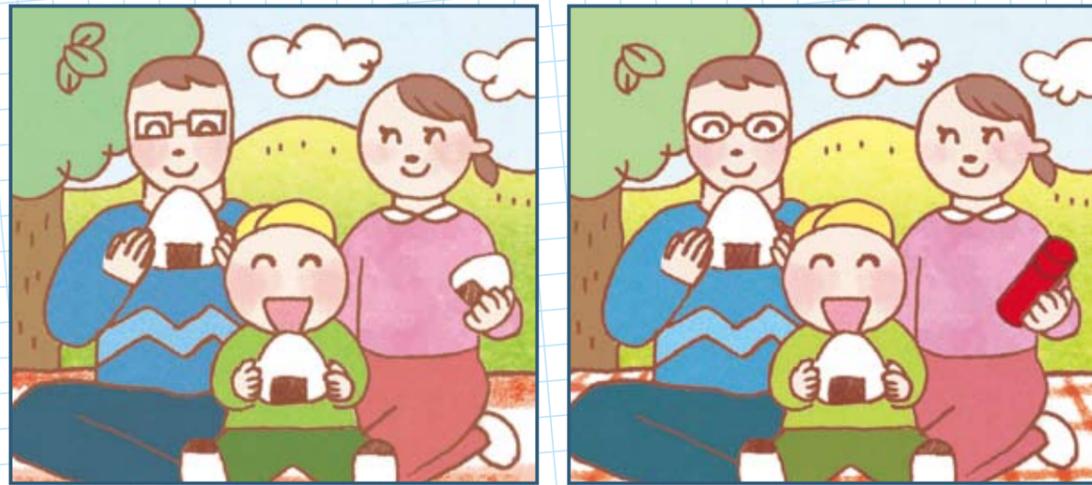
今後も、総合医療相談部では、地域医療の発展に向けて取り組んでまいりますので、よろしくご意見申し上げます。



総合医療相談部 部長 副院長 高野 弘志

脳トレ! 間違い探し

2枚のイラストには、右と左で異なる箇所が5箇所あります。見つけて丸をつけてみてね!



答えはウラ面をチェックしてね!

テーマ「ピクニック」
もうすぐ季節は春。家族みんなでお弁当持って、ピクニックなんていかがでしょうか？たくさん遊んで、いっぱい食べて、楽しいシーズンの到来です!

獨協医科大学埼玉医療センター 地域連携広報誌

まもるがかり

発行 獨協医科大学埼玉医療センター

〒343-8555

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

TEL: 048-965-1111 (代)

048-965-1147 (総合医療相談部)

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/>

制作 株式会社メディア・プラン

<http://www.media-plan-tokyo.co.jp/>

次号予告

第3号 2020年3月発行予定

不妊症と治療 パート2

今号に引き続き、「不妊症」をテーマにお届けします。当院ならではの高度な検査技術や治療方法について、リプロダクションセンター GM(統括者)、泌尿器科主任教授でもある岡田病院長にお話を伺います。

ご案内

総合医療相談部医療連携部門のご案内

業務時間 (病院休診日を除く)	平日	午前9時00分 ～午後4時30分
	土曜日 (第3週を除く)	午前9時00分 ～午後1時30分
連絡先	電話	048-965-1147 (直通)

※ご紹介状をお手元にご準備の上、ご連絡をお願いします。

ご紹介状をお持ちの患者さんは、
初診の予約ができます。

獨協医科大学埼玉医療センターでは、
初診時の外来待ち時間を短縮するために、
ご紹介状をお持ちの患者さんより、
お電話にて予約受付を行っております。





“笑顔”がつなぐ患者さんとの
ふれあいの時間を
大切にしています

理念

常に研鑽し患者さまの信頼にこたえる

病院概要

- 開設年月 昭和59年6月
- 許可病床数 923床
- 診療科名 糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、小児科、放射線科、総合診療科、外科、乳腺科、整形外科、心臓血管外科・呼吸器外科、小児外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、救急医療科、麻酔科、集中治療科、こころの診療科、皮膚科、リハビリテーション科
- 診療受付時間 午前8:30～午前10:30
- 休診日 日曜、祝日、第3土曜日、開学記念日(4月23日)、年末年始(12月29日～1月3日)
- 面会時間 全日(12:00～20:30)

アクセス

東武スカイツリーライン 新越谷駅下車徒歩3分
JR武蔵野線 南越谷駅下車徒歩3分



獨協医科大学埼玉医療センター

〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 TEL:048-965-1111(代)



11ページの「**脳トレ!**間違え探し」の答え



みなさんは、いくつ分かりましたか？
雲のかたちは見落としやすかったかな。
次回もお楽しみに！

